

13. 転倒・転落レベル2以上発生率

(解説) 認知症があったり、病気の影響で意識が混濁したりしている場合には、ご自分のまわりのことが認識できず、あるいは、体のバランスを崩したりして、転倒したり、ベッドから転落したりします。このような患者さんが多い病院では率が高くなる場合があります。より低い値を目指しています。

(※)「転倒・転落による損傷のレベル」は、1：なし、2：軽度(包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた)、3：中軽度、4：重度手術、5：死亡、6：U T D(記録からは判定不可能) です。

(分子) 入院患者転倒・転落レベル2以上該当件数

(分母) 入院延べ日数

	当院	全国		
		施設数	中央値	平均値
2018年度	0.00016	(164)	0.00058	0.00079
2019年度	0.00028	(155)	0.00063	0.00092
2020年度	0.00036	(162)	0.00067	0.00107
4~6月	0.00018	(158)	0.00062	0.00107
7~9月	0.00045	(159)	0.00070	0.00111
10~12月				
1~3月				

